

呉の景気観測（D I 方式）

- 令和3年3月調査結果 -

呉商工会議所

呉市企業の景況は、3期連続上昇も、新型コロナウイルスの影響が続き楽観視出来ない
 - 需要・受注・消費等見通しが立たず、先行き不透明で厳しい状況が続く -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・令和3年3月を前年同月と比較
- ・令和3年4月～6月の先行き見通しを令和3年3月と比較
- ・調査時期 3月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業90社
 (回答70社、回収率77.7%)

・3月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種）DI（良い-悪い）は△33.8→△10.0と、全体では前期に比べ、23.8ポイント大幅に上昇の推移。
業種別では、**製造業**は、約5.8割の企業が横ばいの回答で、DIは△36.8→△12.2と大きく上昇した。
非製造業は、約5.1割の企業が横ばいの回答で、DIは△29.6→△6.9と大きく上昇した。

【D I 方式について】
 DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。
DI = (増加・好転等「良い」の回答割合)
 - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・4～6月の先行き見通しでは、
総合（全業種）DIは△24.6→△20.0と、前回予測から4.6ポイント上昇で推移する見通し。
業種別では、**製造業**は、DIは△21.1→△19.5と上昇する見通し。
非製造業は、DIは△29.6→△20.7と上昇する見通し。

総合（全業種）では、△33.8→△10.0と、呉市の景況は前期に比べ、23.8ポイント大幅に上昇の推移。来期は△24.6→△20.0と、前回予測と比較して上昇の見通し。

業種別概況は、製造業・非製造業共に、大幅な上昇の動きとなった。3月調査による4～6月先行きDI数値は、令和2年12月調査による1～3月先行き見通しに比べて製造業・非製造業共に、上昇の見通しで推移する予測。

呉市の景況は、製造業・非製造業共に、大きく上昇の動きとなっているが、前年のコロナ禍の影響との比較の為、本回復とは一概に言えない状況。製造業は、「国内・海外需要の改善」「巣ごもり需要の恩恵」「受注の回復」等により売上が好転。しかしながら、コロナ禍の影響で、「イベント関係の中止」「受注活動が出来なかった」等売上が悪化。さらに、航空・造船関連の受注量が大きく減少し、厳しい状況が伺える。非製造業は、建設と卸売関係で、大手製鉄会社と取引のある会社は、悪化した模様。ただ、「ネット注力で反響増加」「販売量増加」と言った好転の声もあった。個人消費に関しては、「個人需要に回復の兆し」「外出自粛がやや緩やかで日祝の飲食は改善傾向」など、少しずつ持ち直しの傾向が見受けられた。しかし、コロナ禍の影響により「買い物機会の減少」「客数減少」といった声も聞かれ、楽観視できない状況が続く。

来期の景況は、コロナワクチン接種やコロナ禍の収束後の回復需要を期待する声があったが、コロナ禍の影響により「期待を持ってない」「見通しが立たない」といった声もあり、需要・受注・消費等見通しが立たず、先行き不透明で厳しい状況が伺える。

業種別景況D I

	2020年 12月実績 実績	2021年 3月 実績	今 期			12月調 1～3月 見通し	3月調 4～6月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△33.8	△10.0	17.1	55.7	27.1	△24.6	△20.0	5.7	68.6	25.7
製造業	△36.8	△12.2	14.6	58.5	26.8	△21.1	△19.5	2.4	75.6	22.0
非製造業	△29.6	△6.9	20.7	51.7	27.6	△29.6	△20.7	10.3	58.6	31.0
建設業	0.0	16.7	33.3	50.0	16.7	△20.0	△33.3	0.0	66.7	33.3
卸売業	△8.3	△7.7	15.4	61.5	23.1	△16.7	△23.1	7.7	61.5	30.8
小売業	△60.0	0.0	25.0	50.0	25.0	△40.0	0.0	25.0	50.0	25.0
サービス業	△80.0	△33.3	16.7	33.3	50.0	△60.0	△16.7	16.7	50.0	33.3

呉市の業種DI(H31.3～R3.3)

